

写真展

富重写真所と熊本の近代化

熊本市に、世界最古といわれる写真館、富重写真所があります。長崎の上野彦馬のもとで写真術を学んだ初代富重利平が1866(慶応2)年に柳川で開業し、1870(明治3)年に熊本市内へ移転開業しました。以来、熊本の近代を語る写真の数々を撮影し続け今日に至っています。

五高記念館は、富重写真所の開業140年にあたる2006(平成18)年に特別企画展「創業140年 富重写真所の古写真にみる熊本と五高」を催しましたが、近々開業150年を迎えるのに先立ち、写真展「富重写真所と熊本の近代化」を開催いたします。富重写真所の古写真が持つ歴史的な意義とフィルム写真の深い魅力をご覧ください。

① 富岡県令とムルドル
三角港竣工記念式で写された当時の県令富岡敬明(右)と築港技術者のムルドル(左) 富岡は三角築港を強力に推進した。



② 唐人町通り
大正末期、当時最も繁華な通りであった唐人町通り。左端の建物は第一銀行熊本支店。この建物は所有者が変遷しながらも現存している。



③ 肥後相撲館
辛島町(現熊本市中央区辛島)に相撲興行のため建設された肥後相撲館。熊本市民には外国映画上映館としても親しまれたが、市電施設のため解体された。



④ 三角港築港工事現場
三角港は明治初期に国の三大築港事業の一つとして建設された。写真は完成間近い全景。



⑤ 慶徳小学校集合写真
慶徳小学校(現熊本市中央区山崎町)の校舎前に整列する教師と生徒たち。



交通アクセス 熊本交通センターからバスで20分
熊本駅から車で25分
※専用の駐車場はありませんできるだけ公共交通機関をご利用下さい

お問合せ先 熊本大学 五高記念館
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1
TEL 096-342-2050

